

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年1月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日	備考
1	<p>【淡水化装置(RO-1)周辺における水たまりおよび流量計からの漏えいについて】 協力企業作業員がパトロール時に淡水化装置(RO-1)の周辺に水たまりがあること、および流量計からの漏えいを確認。 当直員が、現場を確認したところ、急速ろ過装置(A)入口流量計、急速ろ過装置(B)入口流量計、淡水化装置モジュール出口配管フランジ部、淡水化装置ドレン出口逆止弁フランジ部から水が漏えいしていることを確認。 急速ろ過装置(A)(B)入口流量計の前後の弁を全閉し漏えいの停止を確認。また、淡水化装置モジュール出口配管フランジ部、淡水化装置ドレン出口逆止弁フランジ部には、袋養生を実施。 漏えいした水は、堰内に収まっており回収を行う予定。 敷地境界モニタリングポストや連続ダストモニタに有意な変動がないことを確認。 淡水化装置(RO-1)は廃止予定であるため、他系統と切り離れた設備で休止しており、汚染水処理と原子炉注水用の淡水確保について影響はない。 原因は、配管の内部の水が凍結したことに伴い配管や継手部が損傷に至ったものと推定。 現在は、淡水化装置(RO-1)が収められている蛇腹ハウス内の熱風発生器(ヒータ)を起動する等の更なる凍結の発生を防止する対策を実施。 今後、再発防止対策を検討予定。</p>	G II	1月10日	
2	<p>【5号機消火用水圧力調整用消火ポンプの軸封部からの漏えいについて】 当直員が5号機消火用水圧力調整用消火ポンプの軸封部からの漏えいを確認。 当該軸封部のパッキンの増締めを実施したが、漏えい量に変化がないこと、および軸封部からの漏えい水が排水ラインの詰まり(水中内の鉄分)により排水不良となっていることを確認。 当該消火ポンプについては現在運転中であり、ポンプの運転状態に異常はないことから消火設備系統に影響はない。 今後、点検修理予定。</p>	G III	1月11日	誤記訂正 2021.1.21 (正)消火 (誤)消化
3	<p>【5号機電動駆動消火ポンプの軸封部腐食について】 当直員が5号機電動駆動消火ポンプの軸封部に腐食が発生していることを確認。 当該消火ポンプについては現在待機中であり、ポンプの運転状態には異常はないため、消火設備系統に影響はない。 今後、点検修理予定。</p>	G III	1月11日	
4	<p>【雑固体廃棄物焼却設備建屋の燃焼空気送風機電動機点検時における動力伝達滑車の破損について】 協力企業作業員が雑固体廃棄物焼却設備建屋の燃焼空気送風機(C)の電動機点検にて、動力伝達滑車の引き抜きを実施していたところ、工具の使用を誤り当該滑車を破損させた。 破損した動力伝達滑車は、新品と交換予定。 今後、原因調査および再発防止対策を検討。</p>	G III	1月12日	
5	<p>【J2, J3タンクエリア雨水回収タンクの水位監視装置指示不良について】 当直員がJ2, J3タンクエリア雨水回収タンクの水位監視装置の指示が下限逸脱していることを確認。 当該装置の復旧までの間、パトロールにてタンク本体に設置されている水位計の確認および現場漏えいの有無を確認。 今後、原因調査および再発防止対策を検討。</p>	G III	1月8日	
6	<p>【5, 6号機原子炉建屋西側道路における車両接触による給水配管の一部保温材損傷について】 協力企業作業員が5, 6号機原子炉建屋西側道路を通行中、路面凍結によりダンプトラックがスリップし運転席側の前輪バンパーが給水配管に接触。 当該配管は、保温材の一部が損傷しているが、配管本体の変形および漏水はない。 車両運転手に怪我は無し。 構内道路について順番に融雪剤を散布していたが、当該道路は融雪剤散布前であった。 今後、再発防止対策を検討。</p>	G III	1月8日	